

このコーナーは、
営農指導員から、農業のちょっと
したコツを、お知らせします。

農業振興課農業振興係 ☎0824-73-1131

野菜作りの ワンポイントアドバイス

営農指導員 若山 譲

秋冬野菜の栽培管理

「秋の日はつるべ落とし」という
ことわざがあります。

秋が深まるにつれ、あつという間
に日が暮れるようになり、気温も
下がっていきます。

露地栽培の葉・根菜類は、本格
的な寒さの到来までに、ある程度
の大きさに育てておかなければな
りません。

そこで、栽培のポイントを参考
にして、種まき、定植および適期
作業を行ってください。

主な野菜の栽培ポイント

① ハクサイ

- ・完熟堆肥を用いて土作りを行う
- ・生育初期に害虫の防除を徹底
- ・結球前までは、肥料を切らさず
外葉を作る

② キャベツ

- ・基肥に速効性の肥料を用いて早
く生育させる

③ コマツナ

- ・生育初期に害虫の防除を徹底
- ・有機肥料を用いて土作りを行う
- ・生育期間が短いので、計画的に
種まきし、適期収穫する

- ・害虫の防除を徹底

④ ホウレンソウ

- ・酸性土壌を嫌うので、石灰資材
を用いて酸度を調整

- ・根が深く伸びるので、排水の悪
い所は避け、有機肥料を多く用
いて深く耕す

⑤ シュンギク

- ・良質な堆肥を用いて土作りを行
う

- ・連作をしない

- ・冬はトンネルなどで防寒する

⑥ ミズナ

- ・水持ちの良い土壌で高畝栽培す
る

- ・肥料をじっくり効かせるため、
有機物を入れて肥切れを防ぐ

⑦ ダイコン

- ・できるだけ深く、細かく耕す
- ・排水の悪い所では高畝にする
- ・品種の組み合わせにより、周年
栽培を行う

⑧ カブ

- ・乾燥に弱いので、適度に水やり
する

- ・早生品種は特にすいり※が早い
ので、採り遅れないようにする

※根の部分が空洞になる現象



花作りの ワンポイントアドバイス

営農指導員 永奥 啓

秋の花弁栽培と来年の準備

本市は暖地の花卉栽培と違い、
秋植え花卉の種類が限られてしま
す。一方で、県北の気象を生かし
つつ、限られた種類の花卉を栽培
するとともに、販売へつなげるこ
とも可能です。

今回はその限られた花卉栽培
と、来年に向けての栽培検討、畑
の土作りについて考えてみましょ
う。

1 秋に植える（種まきする） 花卉の種類

① 種まきする花

シンテッポウユリ、ハナムギ、
ハナナ、キンセンカ、ニゲラなど



リンドウ

② 球根を植え付けする花

ユリ類、アイリス、アリウム、
スイセンチューリップ、フリージ
アなど

③ 宿根草、切り枝花木

リンドウ、シャクヤク、ミヤコ
ワスレ、サクラ、モモなど

2 来年に向けての栽培作戦

販売する具体的なイメージを
持つて栽培しましょう。

- ・テーブルに飾るなら、あまり大
きくない花を栽培

- ・プレゼントには華やかな花、お
墓や仏壇には短めの種類の花を
栽培する など

「誰に」「どんな目的で」使って
もらうかを考えながら、来年に向
けての栽培作戦を立てましょう。

3 土作り

作戦を立てたら早速栽培の準備
です。

- ・秋から土作りを始める
- ・有機物（わらや落ち葉、牛糞堆
肥など）をすき込む
- ・苦土石灰などの石灰分と一緒に
すき込む

こうした作業を早いうちから始
め、秋の花卉栽培と来年の準備を
しておきましょう。